

11月21日(月)

## しかし、神は

聖書朗読 使徒 4:1~10

あなたがたは、私に悪を計りましたが、神はそれを、良いことのための計らいとなされました。  
創世記 5:20

先日の礼拝の説教者が、聖書の中の好きな言葉は、「しかし、神は」だと言っていました。それを聞いてから、私は聖書の中の「しかし、神は」という言葉を探すようになりました。それは、至る所にありました。

本日の朗読箇所が使徒の働き4章では、罪ある人間がイエスを殺しましたが、しかし、神がイエスを蘇らせましたと書いてあります。創世記の50章では、兄たちはヨセフを妬んで奴隷に売り払いましたが、しかし、神は兄たちを、そして多くの人を飢饉から救うためになされたのだと書いてあります。

エペソ人への手紙2章1節から4節には、イエス様に会おう前の歩みの厳しさが描かれています。イエス様に会おう前は、空中の権威に支配された罪と死であり、肉の欲、心の望むままの行いです。しかし、神は、私たちの命が憐れみと恵みに満たされることを可能にされたのです。私たちは、キリスト共に生きているのです。私たちは神様から計り知れない恵みを与えられているのです。何という変化でしょうか。

この世界は、悪と苦しみと痛みで溢れています。しかし、この御国を造られた神様が私たちのために働かれておられます。私たちは決して恐れず、倒れません。ヨハネの福音書16章33節にこのように締めくくられています。「あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしは既に世に勝ったのです。」

讃美歌 147

祈り 父なる神様、どうか試練の多いこの世において、常に働かれ、動かれているあなたを信じ続けることができるようお助けください。信仰を堅くたもてるようお守りください。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

リベッカ・スミス  
テキサス州 コーパス・クリスティ

## 今日の方

2022年11月21日~11月27日

翻訳 浦部 言

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

11月22日(火)

## この祈りを祈ったことがありますか？

聖書朗読 使徒 4:23~31

わたしのために、ののしられたり、迫害されたり、また、ありもしないことで悪口雑言を言われたりするとき、あなたがたは幸いです。 マタイ 5:11

私たちは今、キリスト教後の世界に生きています。西洋文化においても、聖書に基づいた世界観を持っている人が少数派になっています。世界的に、イエス様の名を掲げる人への迫害は強まっています。初代教会が受けたような迫害を再び教会が経験するような日も近いかもしれません。

使徒の時代にペテロとヨハネは福音を述べ伝えることをやめませんでした。彼らが仲間のもとに戻った時、宣教が上手くいくようにではなく、神の言葉を述べ続ける勇気が与えられ、彼らが神様の名によって行うことを通してイエス様を証することができるよう祈りました。

使徒の働き 4章の祈りを共に読みましょう。

主よ。あなたは天と地と海、またそれらの中のすべてのものを造られた方です。あなたは聖霊によって、こう言われました。

…主よ。今、彼らの脅かしをご覧になって、しもべたちにあなたのみことばを大胆に語らせてください。

また、御手を伸ばし、あなたの聖なるしもべイエスの名によって、癒やしとするしと不思議を行わせてください。

私たちも、初代教会のクリスチャンたちの大胆な祈りに勇気づけられ歩んでまいりましょう。

讃美歌 198

祈り 神様、あなたの御名を大胆に語り、あなたの働きに携わる力を与えてください。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

ジョージ・メリット  
アラバマ州 トロイ

11月23日(水)

## 品性を得るために

聖書朗読 ローマ 5:1~5

それだけではなく、苦難さえも喜んでいます。それは、苦難が忍耐を生み出し、忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出すと、私たちは知っているからです。 ローマ 5:3~4

パウロはこの箇所、神を信じる者がクリスチャンとしての品性をどのように得るのか書いています。困難を乗り越える忍耐が品性を生み出し、その品性が神様がもたらされる未来への希望を生み出すと言っています。希望は忍耐することを可能にします。そして、全ての根底にあるのは神様の恵みです。

人は生まれつき良い行いができるわけでも、優れた性格を持ち合わせているわけでもありません。私たちは、訓練をし、学ぶ必要があるのです。ある日思い立って、バイオリンを手にとり弾いてみようと思っても、なかなかうまくいきません。教えてもらい、繰り返し練習し続け、良い演奏を聴き、コンサートに足を運び、音楽の世界に生きる必要があります。品性を練るのにも同じような過程が必要です。次のセリフはその訓練の過程を簡潔に言い表しています。

思いの種を蒔き、行動を刈り取り、  
行動の種を蒔き、習慣を刈り取る。  
習慣の種を蒔き、人格を刈り取り、  
人格の種を蒔き、人生を刈り取る。

讃美歌 321

祈り 天の父なる神様、あなたの恵みによって私たちが強められ、あなたの御名を賛美する者をなさしてください。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

デイビッド・ブランド  
テネシー州 メンフィス

11月24日(木)

## 神は救われる

聖書朗読 ローマ8:26~30

主はこのようにされたのですから、敬虔な者たちを誘惑から救い出し、正しくない者たちを処罰し、さばきの日まで閉じ込めておくことを、心得ておられるのです。

Ⅱペテロ 2:9

私たちは、「神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益となること」を知っています。また、「神は敬虔な者たちを誘惑から救い出される」ことも知っています。しかし、時に忘れてしまうこともあります。この約束を覚えておくことさえもが難しいこともあります。

しかし、感謝なことに神様は約束のみを与えられたのではありません。神様は、こういうときはこうするという例を与えられ、約束が生きたものとなる経験をも与えてくださっています。ヨセフは想像し難い困難を経験しました。ダビデは何年もサウルから逃れ逃げ回っていましたが、その後神様に選ばれ王となりました。最悪のことは、罪のない神のひとり子イエスキリストを十字架にかけたことです。しかし、それは神を信じる者の救いのためでした。

私たちが絶望しかけるときにも、望みがなくなりそうになるときにも、悪が優位にあるように見えるときにも、神様の約束と私たちに与えられた多くの例、証をおぼえましょう。神は確かに全てを益とされます。神は、神の民を救う方法をご存じです。約束に近づきましょう。約束こそが、溺れかけている子を救い出すために、水の上に伸ばされた神の枝なのです。

讃美歌 285

祈り 聖なる神様、時々私たちの信仰は弱まってしまいます。そんなとき、あなたが今まで何度も悪から益をなしてくださったことをおぼえることができますように。あなたをまた信頼できるようお導きください。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

セイラー・ソールズベリー  
オハイオ州 トレド

11月25日(金)

## 覚えましょう

聖書朗読 Iコリント 11:23~33

わたしを覚えて、これを行いなさい。

ルカ 22:19

ときに「覚える」ということは、ただ思い出すという意味で使われます。しかし、多くの場合、なんらかの行動をしなくてはいけないという意味となります。例えば、ケーキをオープンに入れたと覚えるとき、その後しなくてはいけない行動があります。焼けたら取り出して、アイシングをしなくてはなりません。

コリント人への第一の手紙の11章1から3節でパウロはコリントの人々に、彼が教えたことを守ることで彼を覚えるように言いました。ただパウロの訪問を思い出すのではなく、彼の教えを守ることが大切なのです。

コリント人への第一の手紙11章24節でイエス様はパンを裂き、杯を配り「わたしを覚えて、これを行いなさい」と言われました。これは私たちが、パンを少し食べて、ワインを一口飲めば一週間大丈夫という意味ではありません。主の食卓に与る時、私たちは神様が私たちに何をしてくださったのかを考える必要があります。さらに、イエス様のことを覚えることは、イエス様の愛のある奉仕に倣うことでもあるのです。主の食卓をとおして、私たちは主が来られるまで、主の死を告げ知らせるのです(Iコリント11:26)。そして、それが私たちがパンを裂くために集まる理由なのです(使徒20:7)。このように私たちは、神様に少しずつ近づいていくことができるのです。

讃美歌 338

祈り 私たちの主、全能の神、創造主、そして私たちの愛なる天の父よ。私たちの賛美と感謝をお受けください。私たちのためにイエス様を送り、救いをお与えくださりありがとうございます。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

ナンシー・ファーガソン

11月26日(土)

## 霊を高く掲げ

聖書朗読 IIコリント 4:7~18

人は、たとえ全世界を手に入れても、自分のいのちを失ったら、何の益があるでしょうか。  
マルコ 8:36

著名なフランス人小説家のギュスターヴ・フローベールは、彼の作品に夢中になった女性からファンレターを受け取りました。しかし、彼は返信の中で彼女に対して注意をしました。私は彼の返事の「この世で最も重要なことの一つは自分の霊を高く掲げることです」という一文が好きです。

キリスト教の信仰においても霊を高く掲げるとは重要なことのひとつと言えます。イエス様は何を食べるもの、飲むもの、着るものについて思い悩んで歪まないようにしなさいと何度も語りかけておられます。「空の鳥を見なさい」、「野の花に目を向けなさい」とおっしゃいました。私達の霊を妨げるものの多くは、偶像であり、権力、名誉、名声、高慢なのです。

「内なる人」のみが残るのです。しかし、わたしたちは最も重要なことではないものに目を奪われます。この昔からある問題は、目に見えるものが真実であり、目に見えないものには真実が無いと思ってしまう考えなのです。目に見えない霊こそが身体やこの世に関連する何よりも重要なことなのです。

聖歌 232

祈り 神様、わたしたちに霊を高く掲げることがを教え、わたしたちの目にある塵を拭ってください。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

ロバート・W・ローレンス  
ノースカロライナ州 キャンドラー

11月27日(日)

## 私のうちのキリスト

聖書朗読 ガラテヤ 2:17~21

しかし私は、神に生きるために、律法によって律法に死にました。私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。

ガラテヤ 2:19、20

私が神様と出会ったのがむしゅらに勉強をして、良い成績をとることのみに集中していた時期でした。高い目標を掲げて、努力を続けられなければならないと信じていました。そんな時に、神様の恵みは私のどんな成功よりも価値があり、私がどんなに努力しても神様の目に今以上に尊い存在となることは無いと知ったときは安心しました。私のうちにおられる神様の存在を知っていくなかで、私は人生を神様に委ね、神様が私を通して働かれることを学びました。

私の孫も私と同じように神様と出会ってほしいと願うようになりました。私が神様と出会ったように、彼らも彼らのタイミングで神様と出会う必要があるとは思いますが、それでも私の言葉や行いから彼らが神様の姿をみて、神様が全てを治められていることを感じてもらえればと思います。

手袋があっても、手袋をはめる手が無ければ、手袋は役に立ちません。私たちが神様の霊に満たされ、神様の御心に動かされるときこそ、私たちは力を持つのです。

讃美歌 267

祈り 主よ、私の孫と世界の子供たちのためにとりなしの祈りをします。彼らが全てを超えるあなたの力と愛を知ることができますように。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

バーバラ・ギブソン  
テキサス州 ゲーンズビル